

ワードやパワーポイントの図形描画で早く、 きれいに作るコツ

No.172

PCクラブ 2021.06.16

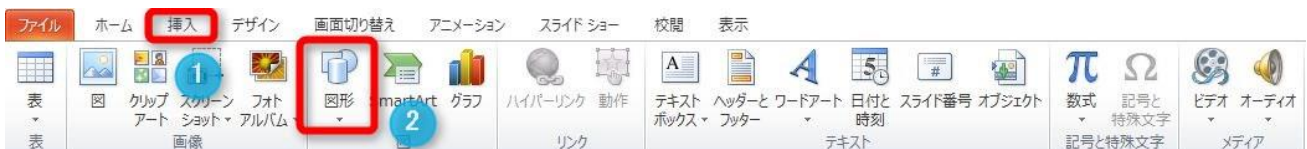
伊藤 嘉明

■ 図形描画でのシフトキーの活用

図形を操作する際に、シフトキーを活用すると次のような効果がある。

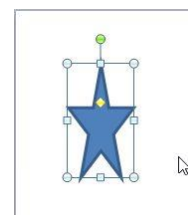
| 使用タイミング | 効果 |
|---------|---------------------------|
| 描写時 | きれいに描ける（水平垂直な線・正円・生四角形など） |
| 移動時 | 水平、垂直に移動できる |
| 選択時 | 複数の図形を同時に選択できる |
| コピー時 | 水平、垂直にコピーできる |

■ 図形を描く際にシフトキーを使用する



まず、[挿入]メニュー → [図形] → [星 5] をクリックして

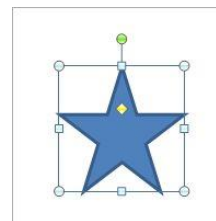
星を描いてみましょう。



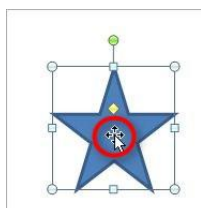
星ができた！

でも、なんか縦長・・・きれいな星型にしたい場合は、**シフトキー**を押っぱなしで描くと、きれいに描ける。

このようにシフトキーを押しながら描くと、それぞれの図形がきれいに描ける。



■ シフトキーを押しながら図形を移動する



しっかり、図形の真ん中にマウスを移動すると、**矢印十字マーク**が移動の合図です。

■ シフトキーを押しながら複数の図形を選択すると

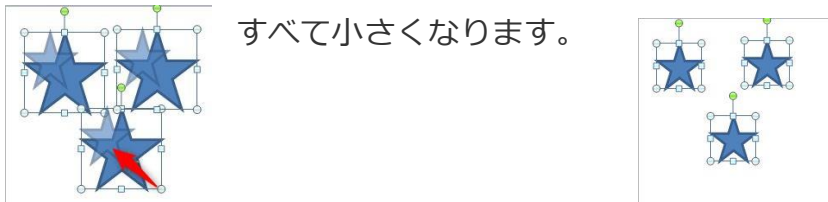
あたりまえですが、次の場所を選択すると**前の選択は解除されます**。



赤四角で囲まれた星の選択は解除されていますね。

しかし、**シフトキー (Shift) を押しっぱなしで選択**するとすべて同時に選択できました。

例えばその状態で**一つの図形をサイズ変更**してみると



複数の図形を同じ設定で変更したい場合、とても便利な機能です。

■ 図形描画でのコントロールキー (CTRL) の活用

図形を操作する際に、コントロールキーを活用すると次のような効果があります。

| 使用タイミング | 効果 |
|----------|----------------------|
| 描写時 | 最初にクリックした位置を中心として描ける |
| マウスで移動時 | コピーになる |
| カーソルで移動時 | 細かく移動できる |

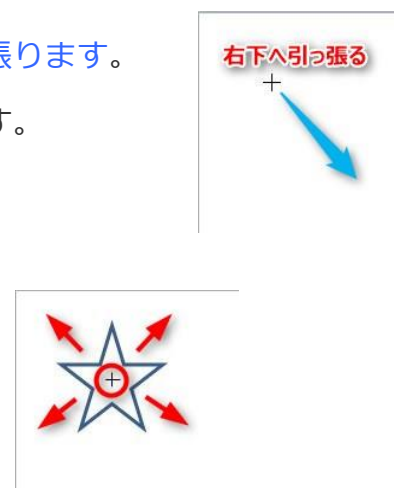
■ 図形を描く際にコントロールキーを使用する

通常図形を描く際は、描いた場所の**左上から右下へ引っ張ります**。

通常は、描き始め場所を基点にして図形ができていきます。



しかし、**コントロールキーを押しながら描くと**、



描き始めを中心として図形が描けます。

右の画像は、赤丸を描き始めとして二つの違いを比べたものです。

出来上がった星の位置が異なります。

**「ここを中心として図形を描きたい」という場合は
コントロールキーを押しながら描いてみてください。**

■ 図形をコントロールキーを押しながらマウスやカーソルキーで移動する

すでに描いた図形を移動する際に、コントロールキーを押すと
素早くコピーが可能になるので、とても便利。

描いた図形の上へマウスを持っていくと、ポインタに**矢印十字**が



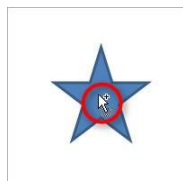
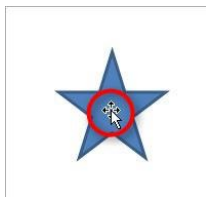
そこで**コントロールキー (Ctrl)** を押すと

「プラス」マークがつかきました。

これがコピーできるの合図です。

そのまま**コントロールキー**は押しっぱなしにして**引っ張** ってください。

何度も何度も・・・。いっぱいコピーできたはずですよ。



■ 図形の移動する際にカーソルキーを使用すると

図形を移動するには通常マウスで引っ張りますよね。

これで問題ないのですが、図形を組み合わせる細かい作業している場合など、「もう少し細かく動かしたい」時があります。

その時はまず、マウスに頼らず対象の図形を選択してカーソルキー（矢印キー）を使いましょう。

すると、マウスで動かすより正確に移動することができます。

さらに、「ほんの少し上！」「ほんの少し左！」に移動したい。

「もっと細かく動かしたいんだ」という方、その時に使って欲しいのが**コントロールキー**です。

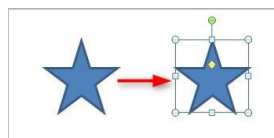
図形を選択した後、コントロールキー (Ctrl) を押しっぱなしにして、好きな方向にカーソルキー (矢印キー) をカチカチ連続で押してみましよう。

どうでしょう。かなり細かく移動できたはずですよ。

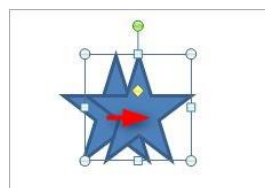
※最近のバージョンでは、最初から細かく移動できるようになっています。

カーソルキーの右を 20 回押してみても比較したのが下の図です。

「通常」



「コントロールキー使用」かなり違いますね。



■まとめ

以上のように、シフトキーとコントロールキーの使用は図形描画機能を使用する際に欠かせることのできない技だと思います。

ついでに、これまでの機能を使用して復習しましょう。

- ・星を一つ描く・・・**シフト**を使ってきれいに
 - ・その星を右に複数コピー・・・**シフトとコントロール**を使って水平コピー
 - ・ランダムにいくつかの星を同時選択・・・**シフト**を使って同時選択
 - ・ランダムにいくつかの星を同時選択・・・**シフト**を使って同時選択
 - ・選択した星のサイズ変更・・・**コントロール**を使って、中心位置を変えずに変更
- どうでしょうか。文字で描くと複雑な作業に見えますが、慣れるとすぐに下のような模様が完成します。

キーボードを組み合わせて使用するのには慣れが必要です。

図形を多用する資料などを作成する機会があったら**積極的にシフトとコントロール**を使ってみてください。

覚えると、作業のスピードアップに繋がり、資料の美しさも格段に上がりますよ。